

SHIGA NAGAHAMA

朝鮮通信使 ゆかりのまち

全国交流会 長浜大会



▲朝鮮紀行（部分）（佐賀県立名護屋城博物館蔵）

円山応挙「琵琶湖之図」（部分）（滋賀県立琵琶湖文化館蔵）

世界に響け！雨森芳洲の
「誠信のこころ」

令和
元年

11/23・24日

祝
土

日

長浜市各会場【長浜文化芸術会館・えきまちテラス長浜
高月観音の里歴史民俗資料館・雨森芳洲庵・他】



開催
概要

平成29年(2017)10月31日、雨森芳洲関係資料を含む「朝鮮通信使に関する記憶」がユネスコ「世界の記憶」に登録されたことを契機に、この度芳洲出生の地、滋賀県長浜市で「第26回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会」を開催します。

この大会行事を通じて、朝鮮通信使の歴史的意義や長浜が誇る偉人・雨森芳洲の「誠信のこころ」を広く国内外に発信します。

主催／朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 長浜大会実行委員会

共催／NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

後援／滋賀県・滋賀県教育委員会・長浜市・長浜市教育委員会

この事業は宝くじの助成金で実施しています。



高月観音の里歴史民俗資料館

企画展「関西にみる朝鮮通信使の足跡」

10/24(木)→12/2(日)

関連
事業



▲雨森芳洲肖像（芳洲会蔵）

あめのもりほうしゅう

雨森芳洲 (1668～1755)

江戸時代中期、対馬藩に仕えた儒学者。雨森村（長浜市高月町雨森）に生まれ、京都で町医者を開業していた父にない医学を志すが、のち儒学に転じて、江戸に出て木下順庵の門に入った。芳洲の文章の秀逸さは門下随一で、のち順庵の推薦によって対馬藩に仕官。朝鮮との交易を行い、また幕府と朝鮮をつなぐ役割を担っていた対馬藩で、朝鮮外交を担当する朝鮮御用支配役の補佐役に任じられ、約20年にわたりその役務を果たした。朝鮮語をほぼマスターし、『交隣須知』等16冊の朝鮮語入門書をも作成。芳洲は、国際関係において平等互惠を旨とし、外交の基本は「誠信（誠意と信義）」にあると説いた。著書『交隣提醒』において「国によって風儀も嗜好も異なるので、日本側のモノサシだけで接しては必ず不都合が生じる。相手国の歴史・言葉・習慣・人情や作法などをよく理解し尊重して「誠信の交わり（まごころの外交）」をおこなうべきである」と主張。

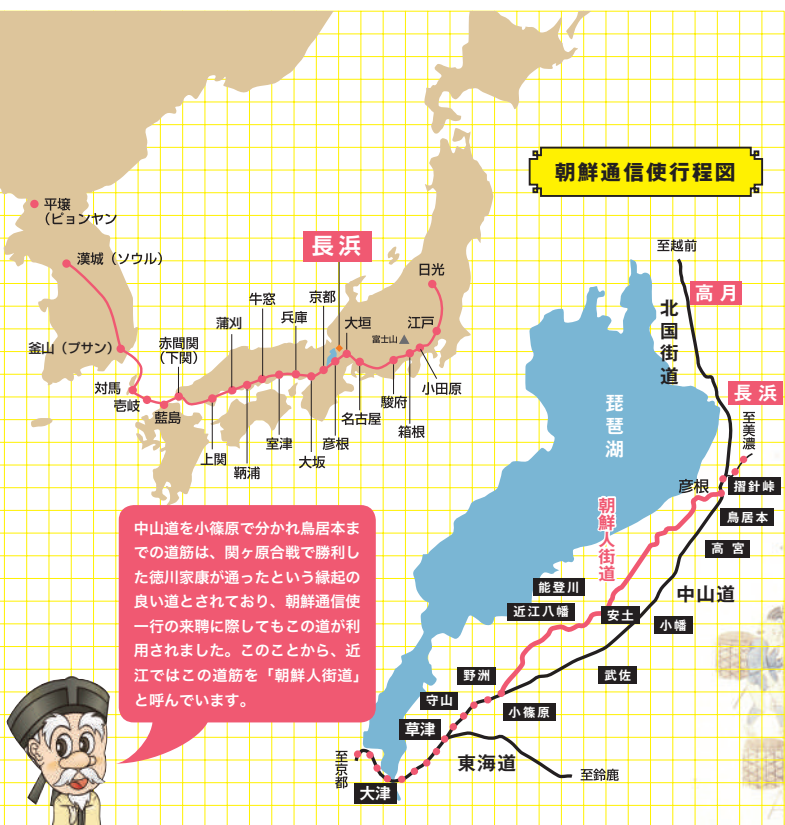
朝鮮通信使とは

鎖国と呼ばれた江戸時代、日本の将軍と国書を交換しあう対等の友好国であったのが朝鮮国です。朝鮮国との交流は当時の日本にとって唯一の正式な「将軍の外交」であり、朝鮮通信使は、朝鮮国王から将軍に対して国書を携え「信を通じるII友好のあかし」使節として日本に派遣されました。彼らは将軍の代替わりの祝賀などを目的に、慶長十二年（一六〇七）から文化八年（一八一）までの約二百年間に十二回も来日しています。朝鮮の都・漢城から江戸までの往復約四千kmを半年以上かけて行き来し、人数は毎回三〇〇〜五〇〇人という大使節団でした。朝鮮政府により選ばれた官僚を中心に、美しく着飾った小童、芸に秀でた楽隊・文人・絵師・武官・医師・通訳、そして船を操る船将や水夫も随行しました。

江戸時代の人々にとって、朝鮮通信使の一行を迎えることは、異国の文化に触れ、彼らと交流するいわば国際的なイベントであり、一行は各地で大歓迎されました。

また、幕府は通信使を通じて朝鮮だけでなく中国をはじめとする東アジアの情報を手に入れることができ、さらに使節団の受け入れや接遇を各地の大名に命じることで、将軍の権威を高め、諸大名の統制を強化する目的もありました。

朝鮮通信使行程図



11.23 土

朝鮮通信使 ゆかりのまち 交流会

長浜文化芸術会館 大ホール 13:00-16:00

滋賀県長浜市大島町 37 TEL 0749-63-7400

記念講演

演題 「韓国から見た雨森芳洲」

バック ファッション

講師 朴花珍氏（韓国釜慶大学 教授）

日韓文化交流会

- ・芳洲先生子どもミュージカル紹介（長浜市立富永小学校）
- ・交流コンサート（韓国若手アーティストによるライブとトーク）
- ・他



▲ジャンホギョ氏

11.23 土 .24 日

日韓交流 シジャン 「長浜えきまち市場」

えきまちテラス長浜 9:30-15:00

滋賀県長浜市北船町 3-24 TEL 0749-53-4450

- ・食の国際交流（韓国料理模擬店・ゆかりのまち物産展）
- ・朝鮮通信使および雨森芳洲の情報発信（パネル展・紙芝居）
- ・韓国民俗芸能の演舞（柳会）
- ・朝鮮通信使に関する映像上映



▲柳会

10.24 木 ~ 12.2 月

企画展 関西にみる 朝鮮通信使の足跡

高月観音の里歴史民俗資料館

滋賀県長浜市高月町渡岸寺 229 TEL 0749-85-2273

大会にあわせて、雨森芳洲関係資料をはじめユネスコ登録された資料や新出資料など、関西地方に伝わる朝鮮通信使関連資料を展示。朝鮮通信使と長浜の偉人・雨森芳洲について広く紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 火曜日、祝日の翌日

入館料 大人 300円 / 小中学生 150円



▶英一蝶筆「馬上揮毫図」(部分) (大阪歴史博物館蔵)

11.24 日

～雨森芳洲のふるさとを巡る～ 高月フィールドワーク

- ①東アジア交流ハウス「雨森芳洲庵」
- ②高月観音の里歴史民俗資料館 企画展「関西に見る朝鮮通信使の足跡」
- ③渡岸寺観音堂（国宝十一面観音）

事前予約制 ※参加には事前予約が必要です。下記の事務局までお申し込みください。

